

大堀川の生き物と水質調査便り



---- 大堀川の水辺をきれいにする会 -----

時 : 2001年8月4(土)9時~12時
 所 : 国道16号線と6号線に挟まれた大堀川の2地点。
 参加者; 一般参加者: 36名(内、学童16名)
 会員参加者: 11名 寺尾、最上、木村、中野、小林、小平、堤田、
 志茂、箕内、青木(七月に入会)、河井

寺尾代表の強い要望で今回は子供達に大堀川で魚採りを体験させてやろう、と始めた企画だ。

朝からのカンカン照りの下、児童を伴って家族が三々五々昭和橋にやってきた。

初め、昭和橋より約200メ - 夕下流で川幅いっぱい綱を張った。
 この綱はゴミ集積所のカラス避け用に被せる二枚で12,000円ナリの代物を、寺尾さん夫婦で繋ぎ合わせた苦心の作だ。なかなかの出来である。
 膝くらいの深さの中、上流から木村さんと堤田さんが土手に生えてた草木をたたきつけて魚を追い込む算段だったが、綱をあげてみると、マッチ棒位の小魚が数匹引っかかっただけ。先が思いやられながら下流へと移動した。
 木崎橋と国道16号の間で、アサヒ飲料の裏手の地金堀が交差する三角州の地点だ。

慎重に兩岸に綱を渡し、魚が集まるのを待ってる間に、松戸から来られた阿部辰数さんが子供達を集めて水質検査を始めた。長さ3センチ位のチューブに穴を開け、空気を抜いた後、これへバケツに汲んだ水を吸い込ませる。およそ5分経つと色がつく。

水道水はほぼ無色。大堀川の水はピンク色から紫色にかけていろいろ。これと色見本と比較しC.O.Dを推定する。大堀川はC.O.Dが7~12だ。まずまずの値だ。
 小さい子も大きい子も一生懸命やってる。
 これこそほんとの環境教育じゃないだろうか。

その内、地金堀の方からバサバサッ、バサバサッとにぶい音がして歓声が上がる。水質検査はそっちのけ、みんなの目がそこへ吸い付けられる。膝につく程の浅い川の中を50センチはありそうな鯉が10匹位がすざまじい勢いで蛇行し、これにあおられて波がジグザグに力強く躍動する。その後を追って寺尾代表と小平さんが懸命に綱を打ち降ろし打ち降ろして捕まえようとするが、鯉はスルスルスルとすり抜けてなかなか綱にかからない。やっとの事で小平さんが捕まえて抱き上げると、その大きさを見てまたまた大歓声。

もうその後は綱にもうじゃうじゃかかり、盥に放たれた魚が飛び跳ねる。子供達にその魚を抱かせて感触を味わせる。

子供達に大堀川の生き物を肌で感じさせる催しとして、これほど成功した企画はな

いだろう。

捕れた魚はコイ、オイカワ(=やまべ)、モツゴ(=クチボソ)、ヌマえび、それと、形はお玉じゃくし/ナマズに似ているが、ひげはなく体長5～6センチの魚。

尚、写真とビデオは鈴木健弘様に写して頂いた事を感謝を込めて報告します。
(但し、下記写真は河井撮影)

=====
この後、水車小屋に移り、道具を洗った後ささやかな慰労会。
暑い陽射しの下であったがみんな今日の成果にいくらか興奮気味。
ビールが喉に沁みました。
=====

【今回の教訓】

1. 常備すべき備品：ゴムホース、バケツ、たわし、
2. 来年から事前に調査地点付近のゴミ拾い、草刈、土手から川への道作りなど行う。
3. 今回のように子供達に

以 上 2001.8.7作成 記録 河井

